

心をおちつけ むだ口をきくな

校長 石神 徹

教室は水を打った静けさに包まれていました。新年度第一週の朝読書の時間。クラス替えがあった3・5年教室を訪問した私は足音を控えるようにして、子どもたちを見つめました。

この静けさについて、子どもたちに聞きました。「本が読みやすくなります。」「自分が本の中にいるようです。」「本と友だちになったようです。」さらには、「うるさいと集中できないけど、静かだと集中できました。」「読んだことが頭によく入ります。」ついには、「自分ががんばったと思えます。」「静かだと落ち着けて、いやなことが無くなるようです。」「静かな雰囲気だと楽しいです。」

毎度紹介している本校明治の校訓に「心をおちつけ むだ口をきくな」があります。制定されたのは明治38年です。この年に生まれた北海道在住、野中正造さんは満112歳です。本年4月にギネス社より、世界最高齢男性に認定されました。ここからも歴史の重さを感じます。本校卒業生で、練馬大根栽培を継承されている渡戸章さんは齢八十を超え、益々ご健勝です。昨年度、現六年生は渡戸さんから地域の歴史とともに、今とは違う昔の学校の厳しさをとくと聞く機会がありました。「心をおちつけ むだ口をきくな」ですから。前述の声から静かに学習するという形としての規律から、この規律が目指す本質である学びを積み上げる喜びを理解し、体得している子どもたちがいることに私は喜びを覚えます。

時に騒ぐことも心を発散させることでしょう。同時に、物音一つしない環境をつくることは、子どもたちにとって決して容易なことではありません。しかし、それを乗り越えて、学びを積み上げることは、発散すること以上の快感につながります。本校の子どもたちは行きつ戻りつしつつも、この快感を覚え、そして、自信をつけつつあると認識しています。開進第一小で学ぶ使命は、心をおちつけ むだ口をきかず、学ぶ喜びを確かに獲得することです。

容易でないことを乗り越えることで成長があります。我慢を要することがあるでしょう。我慢強さを培える場は家庭です。二つ例を挙げます。一つは継続的なお手伝いです。家庭の中での役割をもち、自分が役立っているという自信をはぐくみます。大変と思うことがあっても、それを上回る成果が続けさせます。もう一つは安定した生活習慣です。できれば早めのほぼ決まった時刻に起床することは生活に心地よさをもたらす、それが情緒の安定を図ると思っています。学ぶ権利は子どもにあります。それを生かせるかどうか、使命感をもって学べるかどうかは、家庭の力に負うところが大きいです。全校児童644名に523の家庭あり。温かい家庭があるからこそ、がんばれる子どもたちです。

5月の生活目標

《きまりを守って生活しよう》

生活指導主任 西留 安久

きまりというものがあるのでしょうか。学校の中には、たくさんのきまりがあります。「廊下は右側を歩く」「校帽をかぶる」「名札をつける」それぞれ一つ一つに意味があります。ただ守らせるのではなく、何故守らなければならないのか、その意義を考えさせたいと思います。子供たちにしっかりと意識づけるよう指導していきます。

5月の行事予定

- | | |
|--------|---|
| 1日(火) | 安全指導 |
| 2日(水) | 体育朝会、消防写生会(1,2) |
| 3日(木) | 憲法記念日 |
| 4日(金) | みどりの日 |
| 5日(土) | こどもの日 |
| 7日(月) | 全校朝会 委員会 |
| 8日(火) | 午前授業、内科検診(1,2,3)
個人面談 |
| 9日(水) | 音楽朝会、避難訓練 |
| 10日(木) | 午前授業、個人面談
尿検査予備日 |
| 11日(金) | 午前授業(教育会総会のため) |
| 14日(月) | 全校朝会、クラブ |
| 15日(火) | 午前授業、心臓検診(1,対象者)
個人面談 |
| 16日(水) | 集会なし、耳鼻科検診(全学年) |
| 17日(木) | 午前授業、歯科検診(全学年)
個人面談 |
| 18日(金) | 5時間授業(5)
生活科見学(2)
岩井移動教室説明会(5)
尿検査2次 |
| 21日(月) | 全校朝会、クラブ |
| 22日(火) | 午前授業、眼科検診(全)
個人面談 |
| 23日(水) | 集会、午前授業 |
| 24日(木) | 社会科見学(3) |
| 28日(月) | 全校朝会、生活科見学予備日
クラブ |
| 29日(火) | 社会科見学(4) |
| 30日(水) | 集会、セーフティ教室
(2校時4~6、3校時1~3
4校時 保護者) |
| 31日(木) | 1年生午後授業開始 |



退職者・離任者より一言

★退職された方より★

増山 愛先生 「元気で素直な子供たち」

家庭の都合により、3月末で退職させていただきました。2年間という短い時間でしたが、大変お世話になりました。

開一小といえば、元気で素直な子供たちが、まず思い浮かびます。休み時間や放課後に、広い校庭を元気に走り回る子供たちを見るのが大好きでした。そして、学んだことを素直に受け止め、ぐんぐん育っていく子供たちを見ると、仕事にやりがいを感じました。退職することで大好きな子供たちに会えなくなるのは寂しいのですが、たくさんの思い出を胸に、新しい生活を始めたいと思います。たくさんのすてきな思い出を、ありがとうございました。

給食調理 矢島 和江さん 「4年間ありがとうございました」

開進第一小学校での4年間、多くの方々に支えられ充実した毎日を過ごすことが出来ました。私個人も最後の勤務地でした。その間給食室の改修工事もあり、給食室ばかりではなく学校全体でも大変な時期を経験しましたが、新しくなった給食室でさらに美味しい給食を提供できたことは良い思い出です。これからも美味しい給食を残さずに食べて、周りの人々や自分を大切にしながら、素直に伸び伸びと成長出来ることを心から祈っています。

特別支援教室専門員 塩野 由紀子先生 「開進第一小の皆様へ」

特別支援教室「あおば」の立ち上げに、微力ですが協力できたことは、とても良い経験となりました。熱い思いの先生方とあたたかい保護者や地域の皆様に見守られ、伝統ある開進第一小学校の子供たちの元気なあいさつと笑顔にたくさんのパワーをもらい、あっという間の一年でした。離れても、開一小の子供たちの成長を心よりお祈りいたします。お世話になり、ありがとうございました。

★離任された方より★

高橋 史樹先生 「自分らしさが輝く開一小！！」

開進第一小学校では、7年間お世話になりました。図工の時間では、創造の翼を大きく羽ばたかせながら絵をかいたりつくったりし、自分らしさを大切に生き生きと成長することもたちの姿に驚いてばかりいました。私自身は瞳を輝かせて図工をする皆さんの姿にいつもパワーをもらっていました。ありがとう。少し離れた所からですが、これからも自分らしく輝く皆さんをずっとずっと応援しています。

また、地域やご家庭の皆様、開一小の先生方におきましては、図画工作科の活動にご理解ご協力いただき様々な場面で支えていただき感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

久保 淳太郎先生 「ファイト！開一小！」

あっという間の3年間でした。先生方、保護者の方々、地域の方々には大変にお世話になりました。本当にありがとうございました。

毎日朝から帰りまで広い校庭、広い校舎でいつも元気いっぱいの子供たち。学校中に満ちあふれるパワーからたくさんの元気をもらいました。本当にすてきな学校です。たくさんの思い出がすぐによみがえってきます。

たくさんの友達と先生方、主事さん方と過ごす開一小での一日一日を大切に、自分らしく自信をもって一歩一歩前に進んでいってください。これからもみなさんを応援しています。ファイトー！

給食調理 八木 英一さん 「大きな柱」

開一小の給食調理場には真ん中に屋根を支える大きな柱がある珍しい学校でした。初めのうちこそ少し戸惑いましたが、すぐに慣れていきました。赴任3年目には全面改修工事がありましたが、その柱がなくなることはありませんでした。しかし、新しくなった調理場で働くことができ、貴重な経験をすることができました。開一小で学んだことを生かして頑張っ参ります。4年間大変お世話になりました。

給食調理 中西 哲男さん 「感謝」

開一小での日々はとても楽しい時間でした。児童や教職員の方から「おいしかったよ！」など、いろいろと声をかけてもらいました。開一小の皆様、本当にありがとうございました。

〇●〇退職・離任した皆様、今までありがとうございました。そして、これからもご活躍ください。〇●〇



105名の一年生、開一小の仲間入りをしました！

1年 宗像 映子

4月19日には「一年生をむかえる会」が行われました。当日の朝になると2年生からペンダントをかけてもらい、6年生に手をひかれ、3年生がきれいに飾りつけた入り口から、5年生の花のアーチをくぐり体育館へ入場しました。4年生からの校歌の歌詞や、6年生からの「よろこびの歌」のプレゼントに感激しました。1年生もお礼の気持ちを込めて、呼びかけや「さんぽ」の歌を披露しました。

会が終わると楽しみにしていた外遊びも始め、本格的に開一小の仲間としてデビューした一年生。これからもどうぞよろしくおねがいします。

